

働いてよし&暮らしてよし むらやまの企業

株式会社コヤマ

村山市にある株式会社コヤマの佐藤剛一さん取材しました！

佐藤さんは、山形大学工学部物質化学工学科を卒業した後、2016年に入社しました。

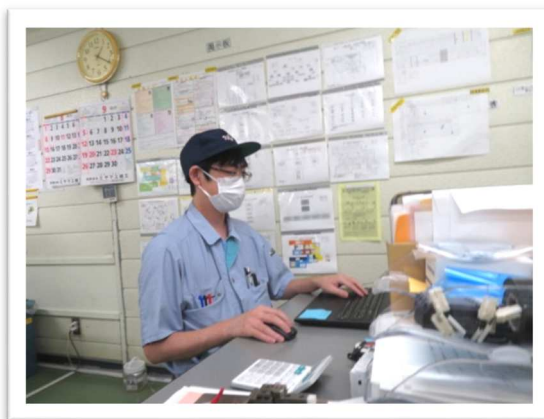
現在は、生産技術課で勤務しています。

(1) 仕事内容編

——現在の仕事内容について教えてください。

生産技術課の仕事は、工場の中にある機械や設備の修理、調整です。私は主に機械の修理をしていて、部品交換やプログラムのメンテナンスもやっています。また、現場の方から「もっとこうしてほしい」という要望があれば新しい道具を作り、実際にどういう不具合があるかを調査して改善をする仕事もあります。

他にも、新しい設備を工場に導入するときや大きな工事があるときには、業者さんとの打ち合わせや現場立会いをすることもありますし、工場から出る産業廃棄物の管理もしています。



——たくさんの仕事をされているんですね。一人で担うのはとても大変だと思いますが、必要な技術や知識は研修で学ぶのですか？

そうですね。生産技術課に配属されてから、研修に行って基礎的なことをある程度学び、あとは経験を積みながらやってきました。といっても、機械の修理や調整などがすべて自分たちで処理できるわけではないので、業者さんに依頼することもあります。

私は工学部物質化学工学科の出身で化学を専門にしてきましたのですが、今の仕事は機械、電気、プログラミング系で、全然違う仕事をしています。一から勉強して経験を積んで、何とかやっている感じですね。

———化学を学んできて、今は機械系の仕事をしているということですが、分野を変えた理由がありますか？

県内企業での就職を目指していたのですが、あまり化学にこだわらず、ものづくりの仕事をしたと思っていました。専門が違って、一から学んで生産技術の技術者になれるときいてコヤマに入りました。ただ、化学の知識がまったく役に立っていないわけでもなく、廃棄物などの環境関連や、機械の原理を理解するのも役に立っていると思います。

———一から学ぶということで、大変だったことはありますか？

一番大変だったのが、工具や道具の名前が全然わからなかったことです。先輩に「あれを持ってきて」と言われても、何を言っているのかわからなかったですから。それを一通り覚えるのが大変だったと思います。

あとは入社してから2年間は現場でマシンを動かして、3年目になって生産技術の担当になったのですが、その2年で現場の大変さを学べたと思いますね。同時に4台もマシンを動かすと、あれこれ考えながら動かさなければならなかったので大変でした。



(2) 職場編

———県内のものづくり会社の中でも、コヤマを選んだ理由はどのようなところでしょうか？

就職を決めた理由としては県内企業ということと、転勤がないことです。あとは、QC (Quality Control) サークル活動という、現場でグループを作って作業現場の改善をしていく活動があって面白そうだったことと、やはり機械や電気を専攻していなくても技術者になれることが決め手でした。

——入社してよかったと思うことはありますか？

仕事をする中で、今はできないけれども挑戦してみたい、ということが結構出てくるのですが、それを上司に「勉強してやってみたい」と相談すると、やらせてくれます。資格関係でも「こういう資格を取りたい」というと、会社が試験の受験料やテキスト代を出してくれるので、入社してよかったと思うところですね。



——今までどんなことを「やってみたい」と言ったのですか？

入社して2年目あたりに、自分の化学の知識を活かせるような資格を取りたいなと思い、危険物取扱の資格を交渉して挑戦させてもらいました。最近だと、部品設計で使えるソフトがほしいと思い、相談したら「いいよ」と言ってもらったので、近いうちにそのソフトを買って業務に役立てようと思っています。

——上司や先輩に相談しやすい環境が整っているんですね。



そうですね。事務所の中は、自分の机の目の前に上司の机があるという感じで、事務所の中には社長も含めていろいろな部署の人が揃っているので、誰とでも話しやすい雰囲気になっています。仕事中でも気軽に「あれは今どうなっているんですか」というように、しょっちゅう会話しています。

——若い人が会社に多いそうですが、社内の雰囲気はどういう感じなんですか？

仕事はもちろん真面目にしていますが、休憩時間は結構おしゃべりしていますね。仕事中でも気軽に声をかけられるような感じです。自分の机は、自分より立場が上の人に囲まれるような席ではありますが、その上司も結構若くて 30 代なので、そんなに緊張せずに話しながら仕事しています。



——現場の要望を聞いて仕事をするということでしたが、社内コミュニケーションが大事だと思うシーンはありますか？

よくある失敗として、現場から「こう改善してほしい」ときて、その後あまりコミュニケーションを取らずにこちらで新しく道具を作ると、「思っていたものと違う」と言われてしまいます。そうならないように、設計中とか実際に作っている最中にも、「こんなふうに考えているんですがどうですか」としょっちゅう声を掛けています。

生産技術課に配属されてすぐにそういうコミュニケーションが大事だと思ったので、工場を回るときにはできるだけ挨拶をして回ることを意識していました。今は全部の工場を回っていますが、声をかけやすいと思ってもらえているのではないかなと思います。

(3) ある日の過ごし方編

●7:50 【出社】

全社員でラジオ体操をして、そのあと部署ごとに朝礼を行います。朝礼では、連絡事項に加えて、それぞれの1日の予定を共有します。

●8:00 【午前の業務開始】

作業現場の見回りや設備の見守り点検に行きます。各工場を回っているときに、現場に声をかけて改善の要望を聞いたりします。

●8:30 【オンライン会議】

お客様とのオンライン会議をします。生産性などのデータを見ながら、課題について相談します。会議が終わったら、生産技術としての仕事を始めます。

●13:00 【昼休憩】

コロナ対策のために、部署ごとに昼休憩の時間をずらしています。私の部署は13時から40分です。この他に午前と午後にそれぞれ15分ずつ短い休憩があります。

●13:40 【午後の業務開始】

業者への見積依頼や発注作業といった事務作業をしたり、現場からの改善要望の解決策を考えたり、設備のトラブル対応をしたりします。

●17:10 【退勤】

マシンが止まっていないとできない点検や修理もあるので、定時の後に1時間ほど残業をすることもあります。

(4) むらやまでの暮らし編

——休日はどうのように過ごしていますか？

料理が趣味なので普段は料理をしたり、甘いものを作ったりとかですね。料理本を参考にして、パンケーキや焼き菓子を作っています。最近はコロナ対策でやっていませんが、以前はバレンタインの時にたくさん作って、会社で配っていました。



——甘いものが好きなんですね！お気に入りのお店はありますか？

私はケーキも好きですがコーヒーも結構好きで、会社の近くの「グリーンウッドコーヒー」や「ドルチェ」にちょこちょこ行って、ケーキやコーヒー豆を買っています。

——有給休暇は取りやすいですか？

有給休暇は断然取りやすいです。この日に休みたいと申請すれば、よっぽど会社が忙しいとかでない限り、そのまま通りますね。断られたことはないです。先輩も新婚旅行で1週間休んでハワイに行っていますから（笑）。

——育児休業も取りやすいのですか？

弊社だと男性も育休をとっています。去年はまるまる1ヶ月、私の男性上司が育休でいなかったので、私がずっと1人でやっていました。生産技術課は上司か自分のどちらかがいれば、一応何とかなる状態にしていますので、いつでも育休などを取れる状況にしています。

——福利厚生がきちんとしているのもこの会社を選んだ理由ですか？

それもあります。育児をしながら仕事することを考えると、結構いい会社だと思います。社員も7~8割が女性で、お母さんが多いですね。子供が熱を出したとかで途中で帰ったり休んだりする人はいますが、そのあたりをカバーできる体制になっています。

(5) まとめ編

——今後の目標はありますか？

普段の仕事内容として機械設備のメンテナンスなどをしていますが、浅く広くやっている感じがあるので、それをもっと深掘りして、自分たちで様々なことに対応できるようにしたいと思っています。

あとは、装置の修理・改善のために部品を自分たちで設計することはありますが、その装置自体をまるまる設計することはまだ会社としてもやったことがないので、そういうところに挑戦していきたいと思います。

——まだ会社で取り組んだことがないことでも、声を上げればやらせてもらえるような環境なのですか？

その装置の規模にもよると思いますが、最初は手作業で使う簡単な装置から始めて、少しずつ電気や空気圧を使った大きな装置も設計できるようにして、少しずつ段階を踏みながら進めていくことになると思います。今もちょっとした道具の設計に取り組んでいるところで、そういう簡単なものはすぐ「やっていいよ」と言ってもらえるので、勉強しながら規模を大きくしていきたいですね。

——これから学ぶところも多いと思いますが、家に帰っても勉強をしているのですか？

普段から本屋さんで勉強したい分野の本を買って、自分で勉強しています。例えば、設計図の図面の書き方、そのからくりの設計の仕方などです。資格のテキストも見ますね。

——今後、就職活動をする学生にメッセージをいただけたらと思います。

普段仕事をしていて思うのは、特に工場では自動化とか効率化がますます求められるようになっているので、考えて仕事できる人が必要とされていると感じます。例えば、計画を見通して全体を把握しながら仕事することや、この仕事が必要とされる背景や目的を考えて仕事をすることです。それに、ただ作業するのではなく、より良い方法や楽に早くできる方法を探して改善しながら仕事する人が求められていると思います。そういうことを踏まえて、自分が仕事をするときに、どんなことができるのか、得意なのかをアピールすると思います。

私が就職活動をしていて大事だと思ったのは、自己分析ですね。自己分析ができていないと、人に伝えるにもふんわりしたあいまいなことしか言えなくなります。自分は今何ができて、将来的には何がしたいのかを、区別して言えるようになると思います。

——最後に、コヤマのすごいところを教えてください。

子育てに理解がある会社ですので、仕事も子育ても大切にしたいという人にとっては働きやすい会社だと思います。

あとは工学部生に向けてのアピールになりますが、大学に入れるレベルの勉強ができれば、会社に入ってから基本的な機械や電気の勉強ができるので、技術者になりたいけれど専門的にはやってこなかったという人には良い会社だと思います。私も化学出身ですし、私の上司も情報学科出身ですが、それでも一から学んで日々マシンの修理をやっていきます。あまり不安がらずに、技術者になりたいという人は来てほしいなと思います！

——ありがとうございました！

お話を聞いて、会社の環境がとても良いなと感じました。自分に仕事内容が合っているのかも大事ではありますが、内部の環境が充実していることが働きやすさにつながってくるのだなと感じました。



【インタビュアー：山形大学人文社会科学部 小笠原彩聖・久山拓真・佐藤玲美】

株式会社コヤマ

★仕事と家庭の両立を手厚く支援、若い社員が多数活躍！！

地域に貢献したいという社長の強い思いから『祭りだ！わっしょい休暇』など社員の声に応えたオリジナルの福利厚生制度を充実させており、社員が仕事と家庭を両立させ、プライベートも充実できるようサポートしています。育児休暇は取得・復帰率10年間以上100%、男性の取得実績ももちろんあります。社員教育にも力を入れており、若い社員が知識や技術を高めてお客様から信頼されて多数活躍しています。

★「子どもと家族を応援する日本」内閣府匿名担当大臣賞（少子化対策）、山形いきいき子育て・介護応援企業優秀（ダイヤモンド）企業

- ・所在地 山形県村山市大久保甲 1260 番地
- ・設立 昭和 51 年 4 月
- ・従業員数 157 名（男性 50 名、女性 107 名）
- ・URL <https://koyama64.wixsite.com/website>
- ・Facebook <https://www.facebook.com/kabukoyama>

